

議員提出議案第7号

高齢者を熱中症から守るためのエアコンに関する意見書

上記の議案を会議規則第14条第1項の規定により提出する。

令和2年9月16日

提出者 西東京市議会議員 中 村 すぐる

賛成者 西東京市議会議員 森 しんいち

西東京市議会議員 田村 ひろゆき

西東京市議会議員 納 田 さおり

高齢者を熱中症から守るためのエアコンに関する意見書

コロナ禍の中、災害級の猛暑が続きました。東京の8月は、連日猛暑日（最高気温35度以上）が続き、熱中症で亡くなる人がふえています。

東京都監察医務院の発表では、東京23区の、8月1カ月の熱中症による死者は195人で、8月では過去最高、昨年1年間の死者数も超えています。このうち、エアコンの設置や使用がなかった人数は165人、70歳代以上が160人と多くが高齢者となっています。

高齢者は、体が暑さになれないことや、筋肉量の減少等で脱水症状になりやすく、猛暑の中で高齢者の命と健康を守るためには、エアコンを適切に使うことが欠かせません。自宅にエアコンのない高齢者世帯へのエアコンの購入・設置への助成制度が求められています。

生活保護制度については、2年前から生活保護を初めて利用する人（世帯）について、自己負担なしでエアコン設置が認められるなど、一步前進しています。しかし、エアコン使用で8月の電気代が、5月から6月ころの倍近くになるなど、夏場の電気代は、やりくりできる範囲を超え、生活を圧迫しています。電気代を心配して、エアコンを使わない人もいます。

生活保護制度には、冬季は暖房費充当分として「冬季加算」があり生活への援助がありますが、「夏季加算」の制度がありません。エアコンへの電気代補助として制度の新設が求められています。

夏季加算新設の必要性は、各自治体からも大きな要望となっています。東京都市生活保護担当課長会から、東京都予算要望事項として夏季加算新設が上げられています。

よって、西東京市議会は、猛暑から高齢者の命と健康を守るために、以下のことを求めます。

- 1 高齢者世帯へのエアコンの購入・設置の助成制度を新設すること。
- 2 生活保護制度に夏季加算を新設すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

西東京市議会議長 田 中 のりあき

提出先 財務大臣、厚生労働大臣